

会議録

審議会等の名称	令和5年度第2回山口市中学校部活動改革推進協議会
開催日時	令和5年8月30日（水曜日）10:00～11:30
開催場所	山口市役所 A会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	大庭達敏委員、稲子田朝美委員、藤田幹委員、石田敬三委員、西村平委員、石川貴之委員、松田和寛委員、田中敬委員、佐伯弘明委員、岡村萬利雄委員、宮崎知彦委員、藤本孝治参与、杉山喬洋オブザーバー、松野下真オブザーバー
事務局	山口市教育委員会事務局 学校教育課
次第	1 開会 2 議題 （1）部活動の地域移行に関するアンケート調査結果（速報値）について ①スポーツ少年団関係（社会教育課） ②スポーツ関係団体（スポーツ交流課） ③文化関係団体（文化交流課） （2）県内他市の取組状況について （3）本市の地域移行に向けての課題について 3 意見交換 4 その他
内容	<p>（司会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料の確認</li> <li>・出席者確認。（委員11名、参与1名、オブザーバー2名） 配布資料 資料1 出席者名簿と、資料2 配席表で確認。</li> </ul> <p>（会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の情報公開について以下のとおり説明。</li> <li>・本協議会は、原則公開で行い、会議録を作成するために発言内容を録音すること。</li> <li>・会議録については、後日、市ウェブサイトで公開すること。</li> <li>・会議録の作成に当たっては、内容は要旨のみとし、委員の発言につきましては、会議録に発言者の氏名は記載せず、A委員、B委員と記載すること。</li> </ul> <p>（会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開等の説明について、皆様よろしいですか。 → 承認</li> </ul> <p>・議題2の（1）部活動の地域移行に関するアンケート調査結果（速報値）について、説明をお願いします。なお、御意見や御質問は、①、②、③のアンケートの説明の後にお受けしたいと思いますので、よろしく願います。</p> <p>（社会教育課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①スポーツ少年団関係について資料3-1により説明。</li> </ul> <p>（スポーツ交流課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・②スポーツ関係団体について資料3-2により説明。</li> </ul> <p>（文化交流課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・③文化関係団体について資料3-3により説明。</li> </ul>

(会長)

説明の内容について、御意見、御質問などありますか。

(A委員)

スポーツ少年団とスポーツ関係団体の管轄が社会教育課とスポーツ交流課とで違うのは何かメリットがあるのか。1つにまとめて管轄した方が話しやすいのではないか。

(会長)

ありがとうございます。市の組織によるものです。御意見としてお伺いしておきます。

(B委員)

スポーツ関係団体アンケート(資料3-2)、8ページ、問5の自由記述にある「部活動を廃止することによるデメリット等の議論」や「部活動を廃止せず、先生のサービス残業を無くす方法の検討」などの意見を見ると、部活動改革の趣旨が十分に理解されていないようなので、もう一度、部活動改革の趣旨を確認させてもらいたい。

(会長)

第1回目で、地域移行について説明させていただいた関係課長から説明をお願いします。

(学校教育課長)

山口市も全国的な傾向と同様に少子化が進み、今ある部活動の数を維持することができない、団体のスポーツや文化活動が成立しない、多様な運動部・文化部の設置が難しい等、部活動を学校単位で継続することが難しくなっています。こうした中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するために、新たな地域クラブ活動を整備する必要があるということが国のガイドラインの趣旨です。

さらに、このことで、学校全体の業務が軽減され、先生方が、本来の授業に集中できるということにつながると考えます。

(会長)

オブザーバーの県学校安全・体育課 指導主事さん、補足をお願いします。

(県学校安全・体育課 指導主事)

本県の140校の公立中学校のうち、全校生徒数が100人未満の中学校は全体の約3分の1で、200人未満の中学校は全体の約2分の1という状況です。

また、100人未満の中学校の部活動数は、1校あたり4～5分野、200人未満の中学校は、多くても10分野程度です。その部活数の中から、子どもたちが選択して活動しており、少子化に伴い、選択肢の幅が狭くなってきています。

さらに、集団スポーツにおいては、1校では中学校体育連盟の大会に出場するための人数が足りず、合同チームを編成して大会に参加する学校がここ数年増え続けているという現状があります。

そうした中、本県においても子どもたちのスポーツや文化芸術の機会確保に向けた部活動改革を進めているところです。

(会長)

B委員さんお願いします。

(B委員)

ありがとうございます。本日、私が一番に言いたかった、子どもたちのスポー

ツや文化・芸術環境を良くすることが趣旨だということが確認できました。先ほどのスポーツ関係団体のアンケートの自由記述にあった、学校の先生の働き方改革は、どちらかというと副産物というか、結果として出てくるものだと思います。

これまでの中学校単位のエリアでは、種目や種類によってチームが成り立たなくなってきた、そこで、学校のエリアをもう少し広げた地域で行えば、チームが成り立つなど、様々なメリットが出てきます。それを目指しているのですが、ニュース等でも、残念ながら、教員の部活動に関わる業務の負担が大きいから、これを減らすために地域移行を進めているという副産物の方ばかりの報道が目立ちます。この協議会を進めていく上でも、可能なら控えていただきたいと思います。

(会長)

ありがとうございます。A委員さんお願いします。

(A委員)

前回は話したのですが、ここで、学校スポーツということから離れ、スポーツはやはり、地域みんなで育て、楽しむものだ、という方向に頭の中を変えるべきだと思います。そのためには、大変な努力が必要だろうと思います。施設、指導者、経費、時間等、本当にいろいろ解決しなければいけない問題があるので、すぐにできないかと思いますが、そういう方向に持っていくべきではないかと思っています。

難点として、地域によっては活動する場所が非常に離れていて、経費や時間など移動に係る負担があり、それを解決していく必要があると思います。

いずれにしろ、地域スポーツの振興に頭を切り替えて話をした方が良いと思います。先ほどおっしゃったような学校の先生方の働き方がどうだということになれば、本来の趣旨から外れると思うので、よろしくお願いします。

(会長)

ありがとうございます。

それでは、続きましては、議題2の(2)県内他市の取組状況について、(3)の本市の地域移行に向けての課題について、あわせて説明をお願いします。

(事務局)

・資料4により説明。

(会長)

ただ今、事務局から説明がありました。委員さんからの御質問がありましたらお願いします。

(B委員)

部活動の地域移行で、学校ではなく、学校の部活動に代わり、地域がスポーツや文化活動を実施していくこととなりますが、その組織とか、今ある団体がどのように関わるのか、今現在の市のイメージがあるなら説明していただきたい。

(会長)

ありがとうございます。大きな方向性としては、今現在、多種多様な部活動に参加している子どもたちが、引き続き活動できる機会を確保することを基本として考えています。

今、委員さんが言われましたが、山口市内17校の中学校がありまして、大規模校から小規模校まで様々な学校があります。現時点で何か取組がありましたら紹介をお願いします。

(事務局)

阿東中学校では、土曜日に地域の方が部活動を指導しております。小規模の中

学校で、指導者を探すことに苦労されたようですが、地域の方で何とかしようという熱意もあって、今年から土曜日については、地域指導者が指導されるという形となりました。その他の地域につきましては、校長からの聞き取りなどを、進めているところです。

また、阿東・徳地地域の軟式野球につきましては、土曜日に阿東東中学校と徳地中学校と阿東中学校が合同で活動しています。

(学校教育課長)

今、具体的な市内の取組についてお話させていただいたとおりです。地域クラブ活動を実際に具現化していくために、国のガイドラインでは、まず大きく推進していく運営主体、といわれる組織を作ること。これは、例えば市が運営主体となることや、その他の形もありますが、全体を動かす組織がそれぞれの市に必要なということなのです。

それと、子どもたちを受け入れてもらう様々な地域クラブ活動としての受け皿となる実施主体が必要となります。この受け皿を作っていく方法としては、既存団体等をお願いするものもありますし、場合によっては、新たなものを生み出していくということもあるかもしれません。実際に、どう組織を作って、どう運営されていくかということが、地域クラブ活動を進めていくために重要で、運営主体と実施主体、これをどこに作るかということ、それぞれの市で具体化していくことが大事になり、しっかり地域と連携を図って、協力しながら進めていくことが必要になります。

(会長)

その他よろしいでしょうか。

せっかくの機会でございます。本日、説明させていただきました中で、皆さんの御意見をお一人ずつお願いしたいと思います。

(A委員)

同じような話になりますが、あまり行政が関わるよりは、それぞれのスポーツや文化の分野が、自主的に組織を立ち上げる。理想ということとはよくわかっていますが、そういう方向に進んでいけるように運営を行っていった方が将来的にはより良い環境になるのではないかと思います。地域の指導者の確保については、賃金がいくらになるか決めてからでないと、ボランティアでやってくれといわれてもなかなか難しいと思います。

(C委員)

私は、外部指導者として部活動を指導させていただいています。部活動指導員に求められる1か月の指導時間は、月20時間となっておりますが、月に20時間指導するというのが難しいです。

例えば、土日のどちらかで3時間指導すると、1か月4週間として、月の指導時間は12時間となりますが、まだ不足します。平日も、仕事が終わってから部活動の指導に出ようとすると、学校に着いた時点で子どもが終わりの挨拶をしているとか、下校するという状態なので、平日の指導は難しい状況です。

そのため、まず、部活動指導員の扱いの見直しが必要だと思います。

それと、指導者の件ですが、若い子、現役のプレーができる子は、自分の練習があるので、部活動の活動時間に毎週指導をすることはなかなか難しいと思います。しかし、そういう人達をどうにかして巻き込んで、指導してもらえるシステムを考えることも必要だと思います。

(B委員)

国のガイドラインでは、スポーツ・文化芸術活動を継続して親しむことができるような機会を確保するようと言われています。これは、本市においては、「山口市の中学生がスポーツや文化芸術活動をする環境が以前より良くなったね。」と

	<p>言われることだと思います。 ぜひこれを目指していきましょう。よろしくお願いします。</p> <p>(D委員) 指導者が、1人ではなかなか活動ができませんので、最低でも2、3人、それよりもっと多ければ多いほどいいと思います。これは、今からの一番の課題ではないかと思っています。 私どもも指導者を確保するために地域の人に声をかけていきたいと思いますが、それぞれ仕事がありますので、なかなか難しいとの声を聞いております。</p> <p>(県学校安全・体育課 指導主事) 今、山口市では、多くの関係部局を中心に進められ、アンケート調査によって実態がわかってきたところです。 次のステップとしては、やはり、方向性をどのように定めていくのかということではないかと思っています。 こうした中、委員の皆様からの貴重な御意見を参考にしていくことで、より良い方向性が決められ、地域クラブ活動の良い協議になっていくのではないかと期待しています。私どもも、できる限りサポートをさせていただき、また、この会にも参加していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。指導者の確保につきましては、全国的な議論となっております。 その中で、子どもたちのニーズに合った指導者という考え方、つまり、競技力向上を目指す子どもたちに対する指導者と、レクリエーション志向のスポーツや文化に親しむ子どもたちに対する指導者といった、柔軟な考え方を持つておく必要があると思います。</p> <p>(県中学校体育連盟 会長) 本年度から、地域クラブが参加した全国大会が先日終了しました。山口県内から約85チームが参加して、支部の予選会に引き続き、全国大会に参加しています。さまざまな課題はありますが、大きなトラブルもなく地方大会も終了しております。今後、さらに地域クラブが大会に参加できるように、私どももルール作りをしっかりとしていきたいと考えています。そして、少子化の中、生徒たちのスポーツ・文化芸術活動が滞りなくできるよう努めていきたいと考えています。</p> <p>(E委員) 活動の場所の観点から言えば、私は今ある学校での活動というのが基本じゃないかと思っています。生徒が移動するというのは、当然リスクも大きくなりますし、先生方が担っていた部分を、地域の指導者がやっていくところが大切ではないかと思っています。先ほどおっしゃったように、小規模校では、既に合同で活動していることは、もちろん大事なことだと思います。活動に必要な費用なども、行政の責任をもって支援する必要があるのではないかと思います。資料では、受益者負担の検討とありますが、これらは、行政が責任をもって全て負担をする必要があるのではないかと思います。</p> <p>(F委員) 様々なアンケート結果について、地域クラブ活動に関わることを検討したいという方が多くいらっしゃるという印象をもちました。一方で、心配と思えることについての質問では、責任の所在や活動場所など、具体的にどのようにするかということに関して、不安を持っている方が多くおられると思われました。その辺は、しっかりと地域の方々と連携し、丁寧に説明をしながら進めていくことが大事だと思います。</p> <p>(G委員) 私は合唱にも関わっておりまして、ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団</p>
--	--

と共演する山口公演第九合唱団を公募しました。中高生を50人募集し、中学生も加わっています。5月から隔週土曜日に練習を続けており、12月の公演まで続きます。この公演が終わった後も、引き続き合唱に来てくれ、ひいては、これが地域部活動のあるべき姿になったらいいなと思います。

子どもたちのことを考えると本協議会の目的は、一日も早い受け皿づくりではないかと思っています。そして、その受け皿を具体的に立ち上げる準備委員会を作るべきだと思います。この協議会がその報告会になるといいのではないかなと思っています。あと2年しかありません。その間にいくつの受け皿ができるのか、というのが非常に大事になります。吹奏楽の指導者は約200人活動ができるプレイヤーがいます。前回も質問させてもらいましたが、地域クラブ活動の要件、いわゆる学校と連携する体制であるとか、指導者資格、そういったものが足かせになって、約200人のプレイヤーが何人減っていくのか、ということに危惧しています。地域クラブ活動の要件を考えなければ、指導者がたくさんいます。例えば、文化施設などが地域クラブ活動に開放されれば指導場所の確保も可能になります。

さらに、将来の指導スタイルとしては、いわゆる「塾」のような形がいいと思っています。私も、ある中学校に部活動指導員として指導をしておりますが、学校の部活動は、大会で優秀な成績を収めるような分野もあります。そのため、部活動が学校から離れにくくなるのではないかなと心配しています。私たち地域側がどんどん地域クラブ活動を立ち上げて、部活動とは別に活動するという形で進んでいけると良いと思っています。防府市には、アスプラートや防府市公会堂に吹奏楽教室や合奏教室、管弦楽教室という、いわゆる「塾」があります。平日の夜と日曜日に活動されており、子どもたちも受け入れられています。山口市からも防府市の吹奏楽教室に通っている生徒さんがいます。一日も早く、山口市にもできたらいいなと思っています。指導者となり得るプレイヤーはいますので、地域クラブ活動の要件が柔軟になってくれるといいなと思っています。

#### (H委員)

山口市は市域が広い自治体で、エリアごとに課題が異なる部分がある。つまり、山口市は、一つの市の課題ではなく、複数の市の課題を抱えていて、それらに対処する必要があるところに難しさがあると感じています。

学校の部活動は純粋にスポーツ・文化活動をしたいということより、もともと全員が加入することが当然という経緯があり、生徒指導的なことや、人間関係の構築などの役割を担ってきたことから、純粋にスポーツ・文化活動をしたいという生徒の数を確かむことが難しく、受け皿がどのくらい必要か読み取りにくい部分がある。スポーツ・文化活動がしたいという子どもたちの活動の機会を確保できるよう、指導者の確保等が大切なことだと感じました。

#### (I委員)

今日も子どもたちが様々なスポーツや文化活動を継続していくために地域移行していくのだということが、改めて確認できたので良かったと思います。アンケート結果を見まして、スポーツ少年団関係のアンケートで307人指導者がいらっしゃる中で、回答者が80人ということで、関心が低いなと思いました。回答しやすいウェブサイトでのアンケートなので、もう少し回答していただいても良いなと思いました。地域にあまり浸透していないのかなと思いました。

そして、指導者の確保ですが、地域で指導できる人を探すというのがベストなのかもしれませんが、なかなか難しいことだと感じています。大胆な発想かもしれませんが、指導者は市の職員として雇用するなど、必要な予算を確保し、まずスタートするのも悪くないのではないかなと思っています。また、新たな地域クラブ活動を立ち上げ、指導者としてやってみようという先生方に、参加していただければ、スタート時点としては何とかなるのかなと少し思います。

	<p>(会長) 各委員さんありがとうございました。大変貴重な意見をいただきました。こうした内容を、次回協議会につなげていきたいと考えております。改めまして、委員の皆様、オブザーバーの皆様、本日は、ありがとうございました。</p> <p>(教育長 閉会あいさつ)</p> <p>(事務局) 次回の協議会につきましては、本市推進方針（素案）なども踏まえまして、協議させていただきたいと思っております。後日、改めて日程調整の後、御案内をさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>(会長) 以上をもちまして、本日の会議を閉じさせていただきたいと思っております。それでは、進行を事務局にお返しします。</p> <p>(司会) 皆様には御多用の中、御出席いただき誠にありがとうございました。 以上をもちまして、令和5年度第2回山口市中学校部活動改革推進協議会を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>【資料1】出席者名簿</p> <p>【資料2】配席表</p> <p>【資料3-1】中学校部活動の地域移行に関するスポーツ少年団関係へのアンケート結果（速報値）</p> <p>【資料3-2】中学校部活動の地域移行に関するスポーツ関係団体へのアンケート結果（速報値）</p> <p>【資料3-3】中学校部活動の地域移行に関する文化関係団体へのアンケート調査結果（速報値）</p> <p>【資料4】山口市中学校部活動改革推進協議会資料</p>
問い合わせ先	<p>山口市教育委員会事務局 学校教育課 TEL 083-934-2862</p>